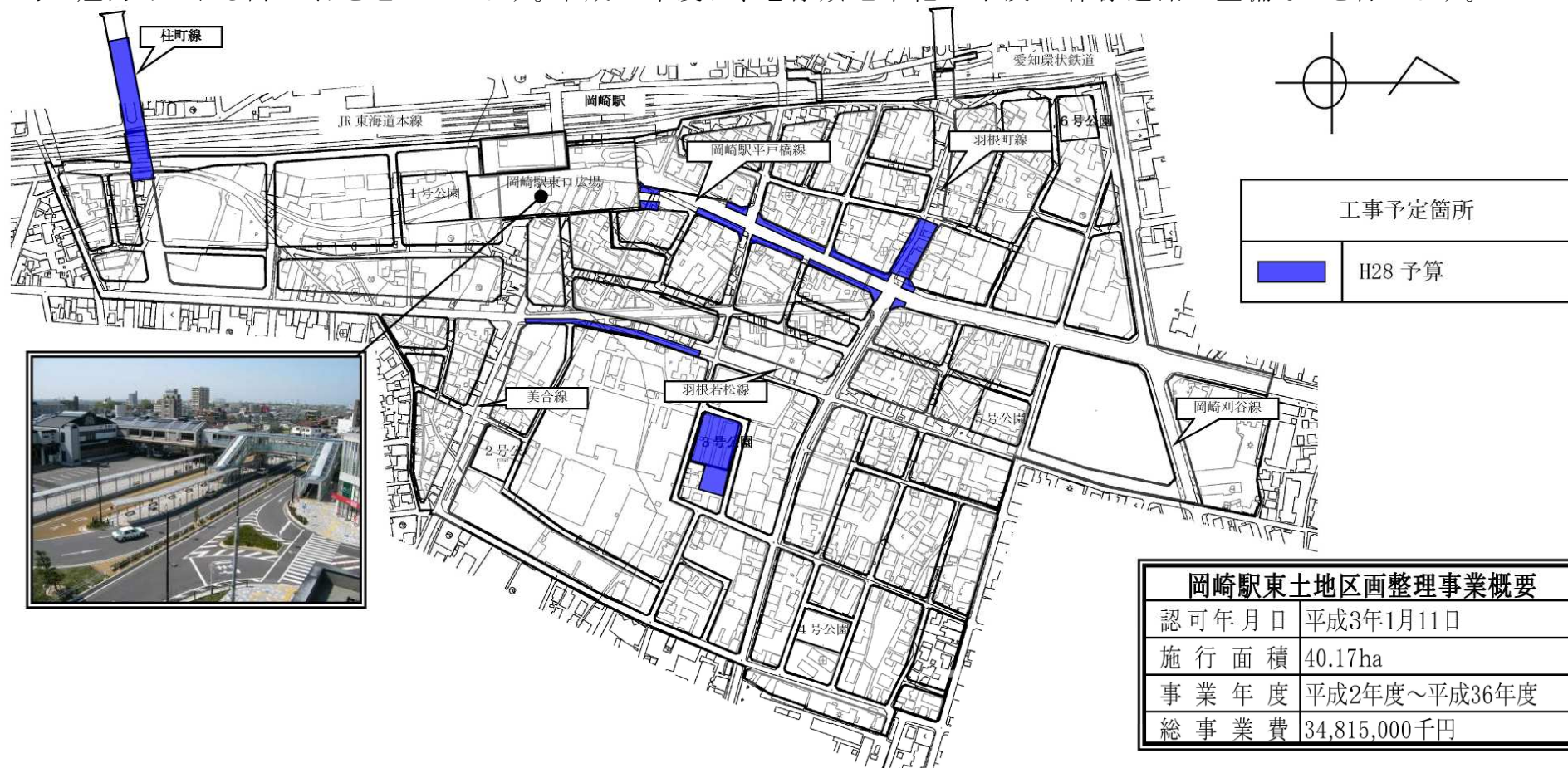


岡崎駅東地区整備業務〔予算額 460,174千円〕

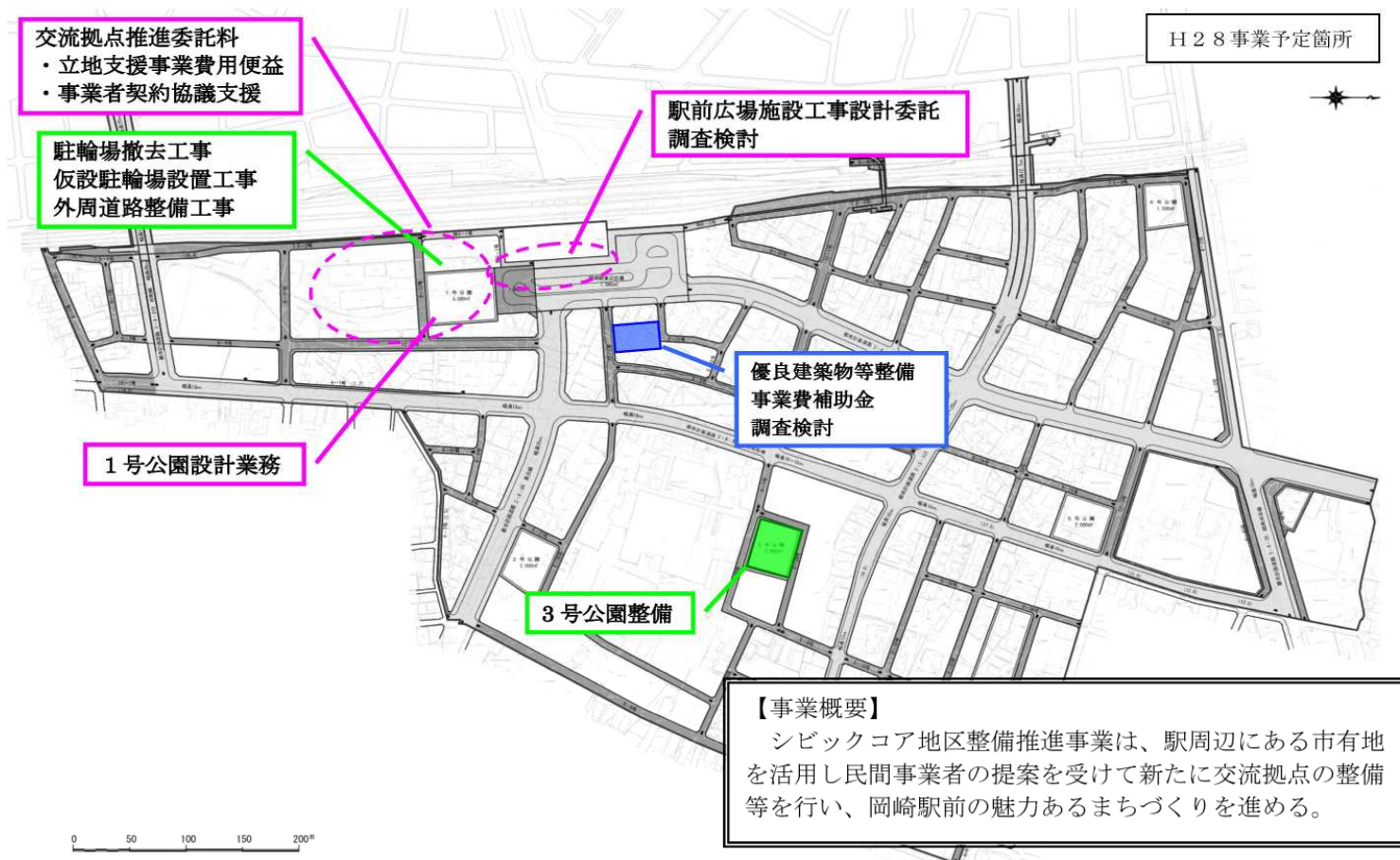
都市整備部 市街地整備課
総務班(23-6264)

財源内訳	国庫支出金 98,450千円、県支出金 31,500千円、諸収入 45千円、市債 69,000千円、一般財源 261,179千円
支出内訳	8款7項3目 岡崎駅東地区都市改造事業費／土地鑑定手数料 2,573千円、換地委託料 12,269千円、区画整理測量委託料 14,289千円、工事実施設計委託料 15,228千円、補償物件積算委託料 864千円、電線共同溝設備工事委託料 16,071千円、事業計画変更資料作成委託料 4,644千円、廃棄物処理委託料 1,404千円、道路築造工事委託料 114,514千円、土地賃借料 5,684千円、道路築造工事請負費 188,919千円、整地工事請負費 9,500千円、道路等維持工事請負費 19,929千円、信号機移設工事請負費 5,768千円、仮設住宅撤去工事請負費 17,172千円、土地購入費 1,368千円、建物等移転補償金 11,500千円、電柱移設補償金 3,978千円、水道管移設補償金 11,500千円、ガスパ管移設補償金 3,000千円

■ 岡崎駅東地区を岡崎市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、個性的で魅力あふれる街づくりを進めています。平成28年度は、電線類地中化工事及び幹線道路の整備などを行います。



シビックコア地区整備業務〔予算額 537,494千円〕		都市整備部 市街地整備課 総務班(23-6264)
財源内訳	国庫支出金 61,516千円、県支出金 16,507千円、地方債 25,000千円、一般財源 434,471千円	
支出内訳	8款7項3目 岡崎駅東地区都市改造事業費／消耗品費 61千円、土地鑑定手数料 2,448千円、公正証書作成手数料 208千円、登記用図面作成委託料 100千円、公園等実施設計委託料 7,344千円、駅前広場施設設置工事設計委託料 36,936千円、交流拠点事業推進委託料 7,344千円、土地賃借料 6,113千円、公園整備工事請負費 43,092千円、交流拠点事業推進工事請負費 184,734千円、土地購入費 115,000千円、水道分担金 385千円、優良建築物等整備事業費補助金 67,032千円、電柱移設補償金 7,173千円、水道管移設補償金 9,000千円、ガスパ管移設補償金 2,000千円、下水道管移設補償金 48,524千円	



東岡崎駅周辺地区整備推進業務〔予算額 1,224,366千円〕		都市整備部拠点整備課 総務企画班(23-6452)
財源内訳	国庫支出金 452,450千円、財産収入 194,714千円、繰入金 140,000千円、市債 391,000千円、一般財源 46,202千円	
支出内訳	8款5項5目 拠点整備費／委員報酬 227千円、費用弁償 28千円、特別旅費 133千円、消耗品費 1千円、土地鑑定手数料 1,693千円、公正証書作成手数料 330千円、登記用図面作成委託料 478千円、周辺整備調査設計委託料 155,000千円、用地補償調査委託料 19,720千円、土地賃借料 26,400千円、周辺整備工事請負費 91,000千円、土地購入費 926,256千円、水道管移設補償金 2,400千円、ガスパ管移設補償金 700千円	

■本市の玄関口である東岡崎駅周辺地区を「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」とすることを目的としています。

東岡崎駅前広場、明大寺交通広場、アクセス道路、ペDESTリアンデッキの整備及び北東街区有効活用事業を乙川リバーフロント地区整備と調整しながら進めます。



【主な業務・整備】

- ペDESTリアンデッキ詳細設計・工事
- 東岡崎駅前広場等修正設計
- 北東街区有効活用事業者選定実施
- 道路築造工事（市道明大寺川端4号線）

東岡崎駅周辺地区整備スケジュール(予定)

	28年度	29年度	30年度
アクセス道路		工事	
明大寺交通広場	修正設計	ペDESTリアンデッキ 工事ヤード	工事
東岡崎駅前広場	修正設計	ペDESTリアンデッキ 工事ヤード	工事
ペDESTリアンデッキ	詳細設計	工事	
北東街区	公募・選定・契約	事業者工事	
東岡崎駅交通広場		(未定)	

平成 31 年度供用開始予定

景観環境まちづくり推進業務〔予算額 17,492千円〕		都市整備部都市計画課 景観推進班(23－6263)
財源内訳	一般財源 17,492千円	
支出内訳	8款5項2目 都市景観環境費／委員報酬 941千円、費用弁償 50千円、食糧費 10千円、揮毫手数料 11千円、 景観重要建造物等標識製作委託料 188千円、岡崎百景選定委託料 2,290千円、景観調査委託料 6,513千円、景観まちづくり推進費補助金 390千円、 景観形成補助金 7,000千円、おかざき景観賞実行委員会事業負担金 99千円	

景観法、岡崎市景観計画及び岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例に基づき、景観形成の規制誘導や支援を行い、本市固有の景観の保全・整備により、美しく風格ある岡崎の創生を実現します。また、新時代へ継承すべき「岡崎市の今」を表す岡崎らしい景観を市民の手で選定し、「岡崎百景」として公開します。

●景観形成補助金（7,000千円）

景観計画に基づく景観形成重点地区において、配慮指針や基準に適合する建造物の修理・修景に対して、支援を行います。



●景観調査委託料（6,513千円）

まちなかを対象に、建造物の現況調査や景観に対する住民等関係者の意識調査を行い、地区の景観形成方針や基準策定に向けた基礎資料を策定します。



●岡崎百景選定委託料(2,290千円)

100年後の未来に伝え残したい「ふるさとの景観」を、公募による市民の推薦人が推薦し、市民の手で「見つけ」「つなげ」「広め」「育て」ていく「岡崎百景」を選定します。



認定歴史的風致維持向上計画策定業務〔予算額 15,868千円〕		都市整備部都市計画課 景観推進班(23-6263)
財源内訳	一般財源 15,868千円	
支出内訳	8款5項2目 都市景観環境費／委員報酬 270千円、費用弁償 141千円、特別旅費 383千円、食糧費 6千円、印刷製本費 778千円、 認定歴史的風致維持向上計画進行管理委託料 4,990千円、案内板設置実施設計委託料 5,400千円、歴史的風致形成推進事業費補助金 3,900千円	

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(通称:歴史まちづくり法)に基づく「岡崎市歴史的風致維持向上計画」を策定し、国の認定を受け、認定計画に基づくハード・ソフト両面の多様な施策や事業を、国の重点的な支援を得て計画的に進めていきます。

●案内板設置実施設計委託料 (5,400千円)

市民や来訪者が歴史文化資産の価値を認識し、周遊できる快適な回遊性の向上を図るため、歴史文化資産をつなぐサインや地域の歴史文化を理解するための案内板や説明板の設置に係る設計を行います。



藤川地区の案内板設置例

●歴史的風致形成推進事業費補助金 (3,900千円)

歴史的建造物の保存・活用に係る修理・修景並びに歴史及び伝統を反映した人々の活動の継承に対して、支援を行います。



新規	鉄道駅バリアフリー化推進業務 〔予算額 96,192千円〕	都市整備部交通政策室 公共交通班(23-6486)
財源内訳	一般財源 96,192千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費／土地鑑定手数料 745千円、登記用図面作成委託料 483千円 測量設計委託料 2,960千円、土地購入費 92,004千円	

1日の平均利用者数が3,000人以上ある西岡崎駅にエレベーターや障がい者対応型トイレを設置するなど、バリアフリー化の整備を交通事業者と一体となって進めます。

◆整備スケジュール

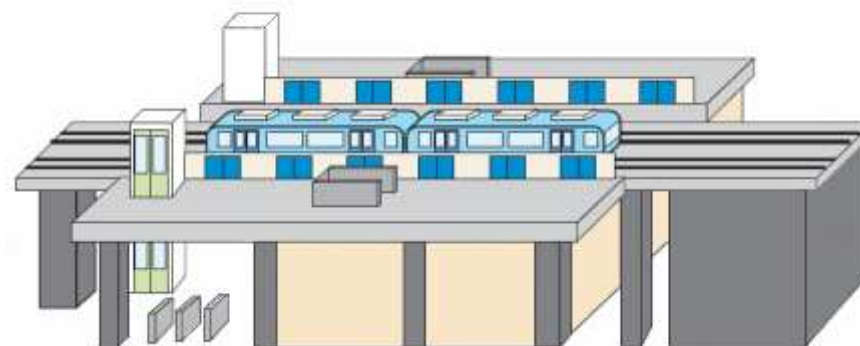
H28年度 駐輪場の用地取得、駐輪場測量設計

H29年度 駐輪場工事、エレベーター・障がい者対応型トイレ等設計補助

H30～31年度 エレベーター・障がい者対応型トイレ等設置工事補助

◆期待される効果

- ・高齢者や障がい者、ベビーカーの利用者などが、安全安心に移動でき、社会活動への参加が増えることで、活力ある都市づくりにつながります。

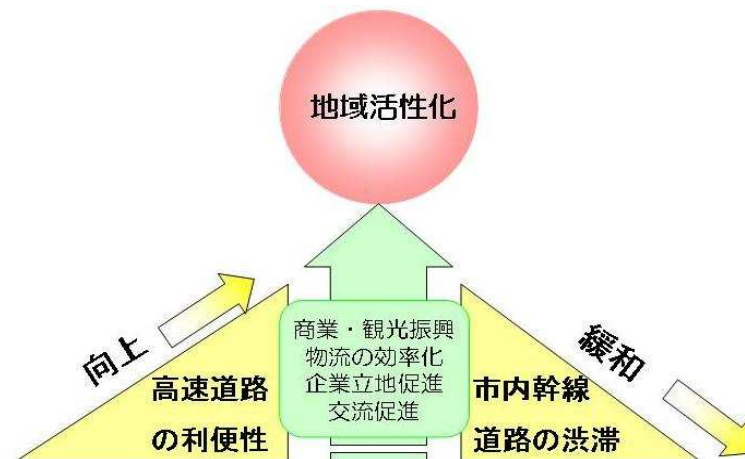
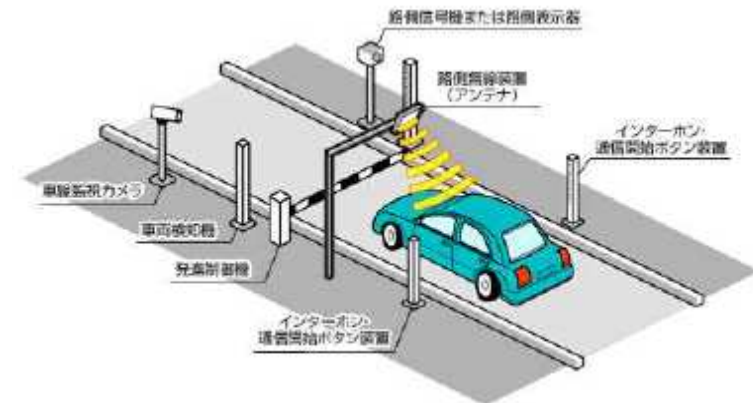


スマートインターチェンジ調査検討業務〔予算額 27,035千円〕		都市整備部交通政策室 高規格道路整備班(23-6285)
財源内訳	一般財源 27,035千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費／食糧費 13千円、スマートインターチェンジ調査検討委託料 27,022千円	

高速道路へのアクセスの向上を図ることにより、高速道路の利便性の向上、地域経済の活性化等、様々な効果が期待されることから引き続きスマートインターチェンジの調査・検討を行います。

◆期待される効果

- ・ 高速道路の利便性の向上
- ・ 幹線道路の渋滞緩和
- ・ 交流活動の促進、観光・商業の振興
- ・ 物流の効率化、企業立地の促進



街路・道路新設改良事業〔予算額 1,293,230千円〕		土木建設部道路建設課 総務班（23-6442）
財源内訳	国庫支出金 220,400千円、県支出金 22,000千円、市債 285,000千円、一般財源 765,830千円	
支出内訳	8款3項3目 道路新設改良費／特別旅費 98千円、土地鑑定手数料 1,796千円、測量設計委託料 21,420千円、登記事務委託料 2,000千円、 道路用地管理委託料 3,135千円、道路新設改良工事請負費 239,220千円、道路新設関連工事請負費 5,000千円、土地購入費 24,764千円、 用水路移設補償金 35,640千円、電柱等移転補償金 6,600千円、事業損失補償金 500千円 8款5項3目 街路事業費／特別旅費 97千円、土地鑑定手数料 544千円、測量設計委託料 200,124千円、登記事務委託料 1,000千円、 道路用地等管理委託料 7,387千円、街路改良工事請負費 218,576千円、道路用地等維持修繕工事請負費 1,000千円、土地購入費 489,329千円、 街路改良工事負担金 33,000千円、電柱等移転補償金 2,000千円	

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

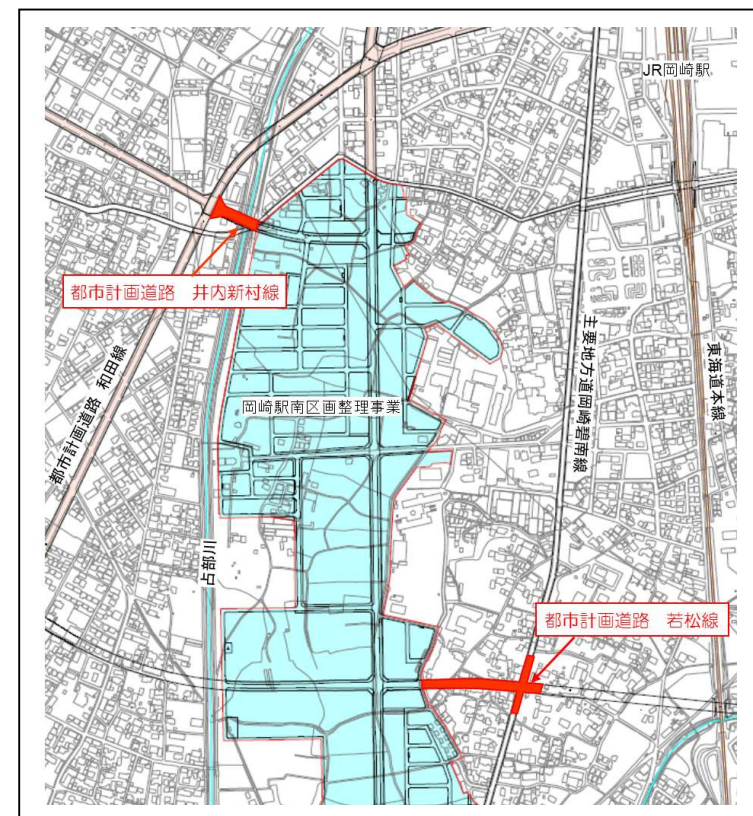
事業予定箇所

街路新設改良事業

- ・ 岡崎環状線
- ・ 若松線
- ・ 井内新村線

道路新設改良事業

- ・ 大幡赤坂線
- ・ 中村福岡線
- ・ 奥殿学校線ほか3路線
- ・ 東奥洞七ツ池線
- ・ 大和新堀線
- ・ 仁木八反田5号線ほか2路線
- ・ 北野町線ほか1路線
- ・ 針崎野畑線
- ・ 中島岡崎天白線



都市計画道路 井内新村線・若松線

岡崎(城址)公園整備業務〔予算額 43,318千円〕

都市整備部公園緑地課
技術班(23-6294)

財源内訳 繰入金 20,000千円、一般財源 23,318千円

支出内訳 8款6項2目 公園費／施設改修検討委託料 1,080千円、公園整備工事請負費 42,238千円

藤棚整備



「五万石ふじ」の踏圧による根への影響を軽減するため、平成27年度に引き続き藤棚の整備を進めます。

駐車場改修



回遊性や公園活用(利用)の促進及び来園者の利便性向上のため、公園駐車場の改修を行います。

東公園整備業務〔予算額 194,787千円〕

都市整備部公園緑地課
技術班(23-6181)

財源内訳 繰入金 90,000千円、市債 78,000千円、一般財源 26,787千円

支出内訳 8款6項2目 公園費／土地鑑定手数料 951千円、測量設計委託料 2,068千円、土地評価委託料 2,500千円、公園整備工事請負費 184,268千円、電柱移設補償金 5,000千円

ゾウ舎改築 完成予定

東公園動物園 新ゾウ舎完成イメージ図



動物園において、ゾウの飼育環境に配慮するためのゾウ舎の改築を平成27年度に引き続き行います。

駐車場整備



南駐車場において、バスによる来園者等に安全性や利便性の向上を図るための整備を進めます。

また、市道からのアクセス及び団体での利用に関する改善のため、新たに公園区域を広げ、新駐車場整備の進捗を図ります。

岡崎中央総合公園整備業務〔予算額 121,192千円〕

都市整備部公園緑地課
管理班(23-6294)

財源内訳 繰入金 100,000千円、一般財源 21,192千円

支出内訳 8款6項2目 公園費／測量設計委託料 39,700千円、公園整備工事請負費 81,492千円

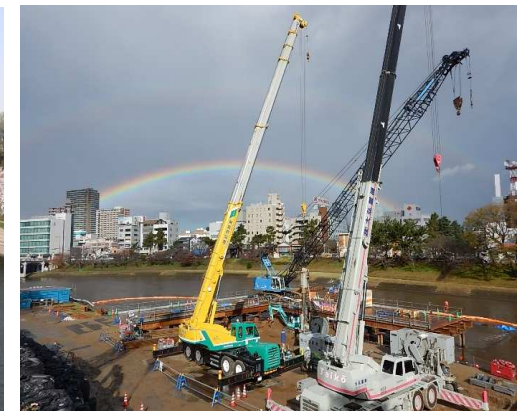
施設改修



公園(施設)利用者が安心・安全で快適な利用ができるように、老朽化した総合体育館消防設備、野球場ベンチシート及びテニスコート人工芝について施設の改修を進めます。
また、公共下水道への排水が可能な区域となったため、公共下水道への接続を行います。

乙川リバーフロント地区整備等推進業務		都市整備部 乙川リバーフロント推進課 企画調整班(23-6490)
〔予算額 乙川リバーフロント地区活用推進業務 131,067千円・乙川リバーフロント地区整備推進業務 1,539,145千円〕		
財源内訳	国庫支出金 445,446千円、財産収入 148,408千円、市債 533,000千円、一般財源 543,358千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費／委員報酬 375千円、費用弁償 12千円、かわまちづくり運営支援委託料 62,500千円、かわまちづくり企画支援委託料 24,100千円、まちづくりデザイン策定委託料 28,080千円、泰平の祈りプロジェクト実施委託料 16,000千円 8款5項5目 拠点整備費／特別旅費 271千円、消耗品費 516千円、土地鑑定手数料 410千円、実施設計委託料 80,300千円、史跡調査委託料 5,000千円、整備推進支援委託料 2,500千円、市有林皆伐委託料 15,000千円、式典開催委託料 2,400千円、会場使用料 15千円、乙川河川緑地施設整備工事請負費 299,400千円、乙川河川緑地人道橋整備工事請負費 700,100千円、岡崎公園整備工事請負費 26,000千円、乙川プロムナード整備工事請負費 43,000千円、ポケットパーク等整備工事請負費 2,200千円、石像設置工事請負費 8,000千円、土地購入費 104,000千円、職員研修負担金 33千円、建物等移転補償金 250,000千円	

- 川の優れた景観と魅力的な水辺空間を活かした都市空間を創造するため、前年度に引き続き、乙川河川緑地の遊歩道や階段などの回遊施設や乙川プロムナードの整備、(仮称)乙川人道橋の工事を進めます。



- 乙川リバーフロント地区整備に合わせ、周辺の町内や商店街と連携を図り、魅力あふれる観光産業都市創造の基盤となるまちづくりを行います。また、かわまちづくり支援制度を活用し、乙川の水面や河川敷の活用促進やプロモーションや社会実験を進めます。

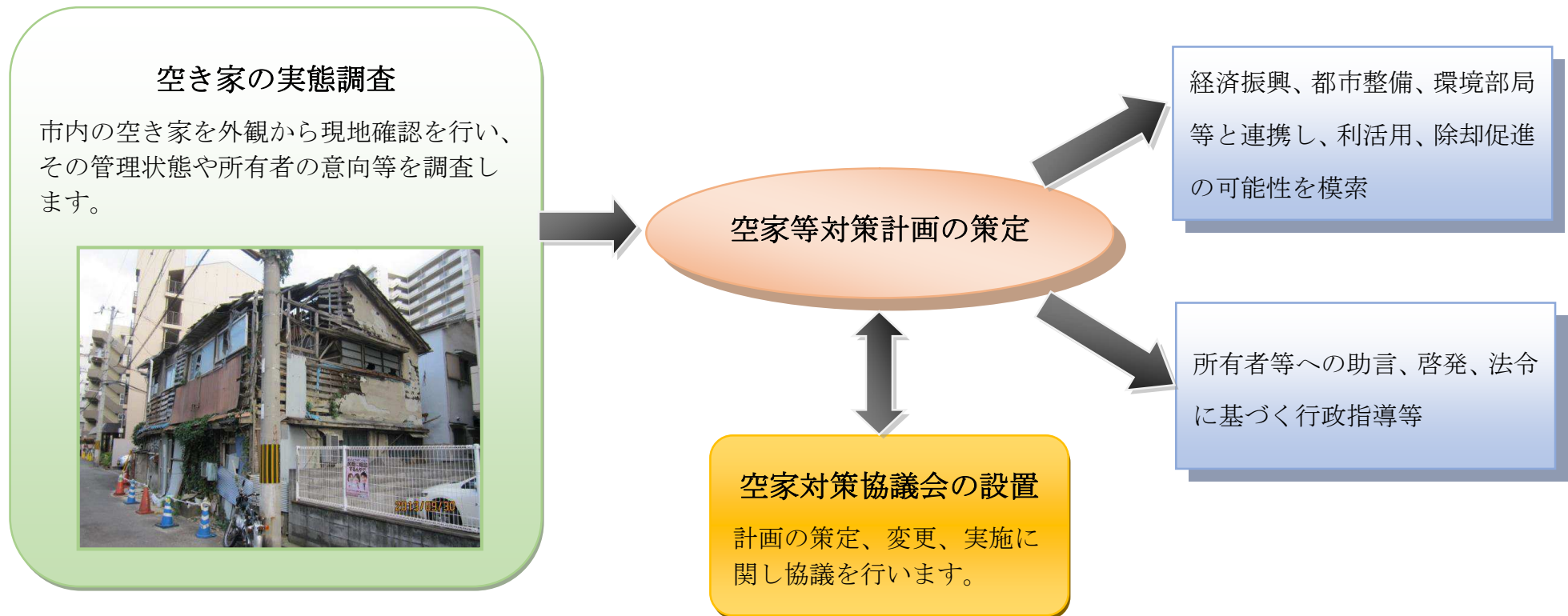
さらに「泰平の祈りプロジェクト」を通して乙川リバーフロント地区整備計画の情報発信を行います。



新規	空家等対策推進業務〔予算額 21,284千円〕	建築部住宅課 技術班(23-6879)
財源内訳	国庫支出金 5,972千円、一般財源 15,312千円	
支出内訳	8款8項1目 住宅総務費／委員報酬 360千円、費用弁償 110千円、特別旅費 59千円、食糧費 6千円、空家等実態調査委託料 11,945千円、 空家等対策計画策定委託料 8,673千円、職員研修負担金 131千円	

近年、人口減少や高齢化の進展、さらには居住形態の多様化など、社会構造やニーズの変化に伴い、全国的に空き家の問題が顕在化しており、本市においても空き家に関する問い合わせや苦情が多くなってきている状況です。そういった背景の中、平成26年11月27日に空家等対策の推進に関する特別措置法が成立し、その翌年の5月には完全施行されました。

適切な管理が行われていない空き家への対策は良好な住環境、魅力あるまちを形成していく上で重要な課題であり、その発生防止や利活用など、法の運用を含め、総合的に対応していきます。



【水道事業】原水及び浄水施設整備事業〔予算額 430,963千円〕

上下水道局総務課
財務班(23-6353)

財源内訳 工事負担金 1,500千円、自己財源 429,463千円

支出内訳 1款1項1目 原水及び浄水施設費／委託料 23,369千円、施設工事費 385,593千円、その他 22,001千円

老朽化した施設及び設備を更新します。

◆基本方針

- ・老朽化した施設の更新

◆主な事業内容

(1) 日名水源送水場施設更新事業（137,800千円）

- ・平成28年度～29年度までの継続事業
- ・老朽化したポンプ室の築造及び電気機械設備の機器製作

(2) 本宿配水場設備更新事業（160,465千円）

- ・老朽化した受変電設備及び計装設備の更新

日名水源送水場ポンプ室（現況）



本宿配水場電気室（現況）



【水道事業】配水・給水施設整備事業〔予算額 2,460,792千円〕		上下水道局総務課 財務班(23-6353)
財源内訳	企業債 389,000千円、他会計出資金 106,048千円、工事負担金 365,700千円、他会計負担金 25,000千円、県費補助金 82,000千円、自己財源 1,493,044千円	
支出内訳	1款1項2目 配水施設費／委託料 65,000千円、施設工事費 2,125,100千円、その他 100,329千円 1款1項3目 給水施設費／施設工事費 124,400千円、その他 45,963千円	

老朽化した水道管の更新及び重要給水施設への耐震化を行います。

◆基本方針

- ・配水管布設・布設替、铸铁管・塩化ビニル管布設替
- ・重要給水施設への水道管路耐震化

◆主な事業内容

- (1) 铸铁管布設替事業（304,900 千円）
 - ・錆が発生し赤水の原因となっている老朽化した水道管の布設替え
 - ・φ100～φ300、延長 2,585m
- (2) 塩化ビニル管布設替事業（156,000 千円）
 - ・耐震性が低く、漏水事故の影響が大きい老朽化した水道管の布設替え
 - ・φ50～φ100、延長 2,330m
- (3) 管路耐震化事業（712,100 千円）
 - ・中央総合公園始め6箇所の重要給水施設への水道管の耐震化
 - ・φ100～φ500、延長 4,470m



【水道事業】水道拡張事業〔予算額 3,271,407千円〕

上下水道局総務課
財務班(23-6353)

財源内訳	企業債 785,500千円、他会計出資金 171,540千円、自己財源 2,314,367千円
支出内訳	1款1項4目 水道拡張費／委託料 19,133千円、施設工事費 3,181,564千円、その他 70,710千円

老朽化した施設の更新及び配水池の増量を行います。

◆基本方針

- ・ 男川浄水場の更新及び配水池の増量

◆主な事業内容

- (1) 六供配水場配水池改良事業 (416,564 千円)
 - ・ 平成 25 年度～28 年度までの継続事業
 - ・ 配水池の改良 (3,500 m³を 5,000 m³へ)
 - ・ 場内整備工事等
- (2) 北斗台低区配水場配水池増設事業 (285,000 千円)
 - ・ 平成 27 年度～29 年度までの継続事業
 - ・ 配水池の増設 (10,000 m³を 13,400 m³へ)
 - ・ 配水池築造工事
- (3) 男川浄水場更新事業 (2,363,133 千円)
 - ・ 平成 29 年度供用開始予定
 - ・ 老朽化した男川浄水場の更新

六供配水場配水池改良事業



男川浄水場更新事業



【下水道事業】汚水整備事業〔予算額 980,750千円〕		上下水道局総務課 経営管理班(23-6304)
財源内訳	企業債 499,780千円、工事負担金 26,300千円、受益者負担金 83,049千円、国庫補助金 331,350千円、自己財源 40,271千円	
支出内訳	1款1項1目 管渠施設費／委託料 75,000千円、補償金 190,000千円、施設工事費 707,750千円 1款1項2目 ポンプ場施設費／委託料 8,000千円	

下水道（汚水）の整備を図ります。（整備面積 約23ha）

◆汚水整備

- ・ 整備予定延長 L≒9,200m
- ・ 整備予定管渠 φ150 mm～450 mm
- ・ 事業予定地域 岡町、筒針町、坂左右町、定国町ほか

◆汚水中継ポンプ場関連

【設 計】

美合汚水中継ポンプ場のポンプ場増設に係る実施設計業務

【工 事】

美合汚水中継ポンプ場からの圧送管増設工事（φ450 mm、L≒300m）

◎平成 27 年度に見直した「汚水適正処理構想」に基づき、10 年間で汚水処理の概ね完成（概成）を目指します。

【汚水適正処理構想の考え方】

- ・ 将来の人口減少
- ・ 事業の採算性
- ・ 時間軸（10 年間）



より一層の効率的整備を進めていきます



【下水道事業】雨水整備事業〔予算額 1,544,800千円〕		上下水道局総務課 経営管理班(23-6304)
財源内訳	企業債 796,100千円、他会計出資金 83,100千円、国庫補助金 665,600千円	
支出内訳	1款1項1目 管渠施設費／委託料 52,700千円、補償金 53,600千円、施設工事費 481,500千円 1款1項2目 ポンプ場施設費／委託料 857,000千円、施設工事費 100,000千円	

浸水被害の軽減を図ります。

◆雨水管渠整備

【設計】

八帖北幹線関連 実施設計業務 (φ2,000 mm、L≒350m)

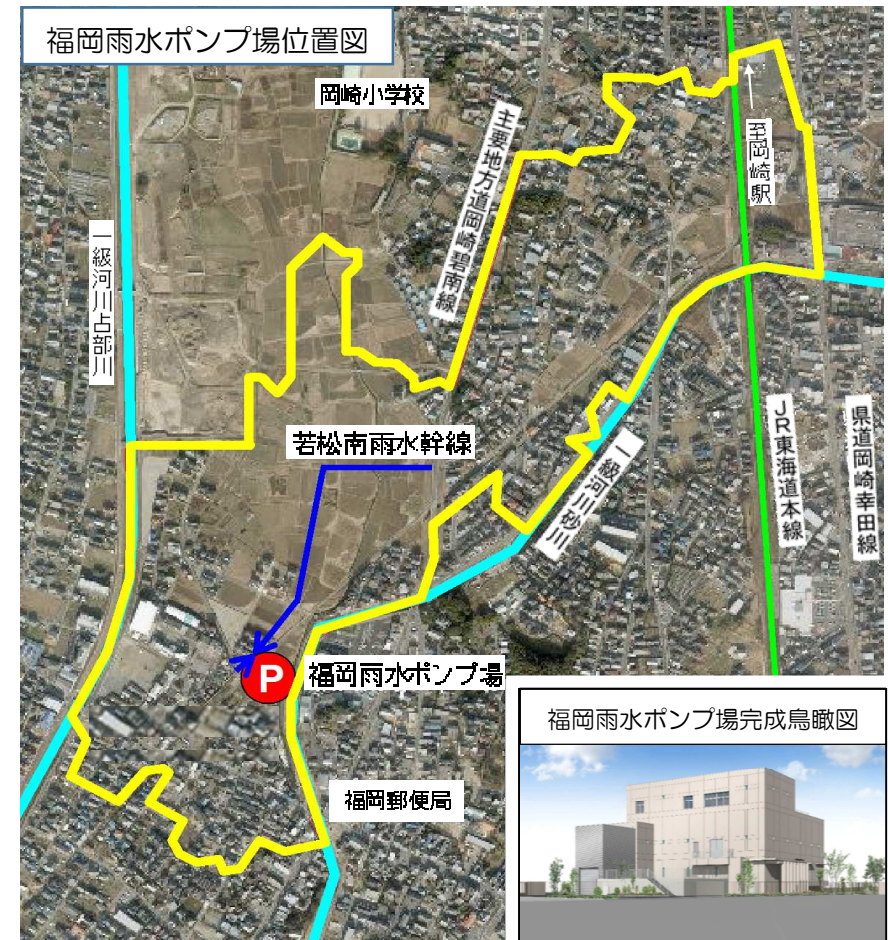
【工事】

- ・中町幹線築造工事 (φ1,350 mm、L≒150m)
- ・若松南幹線築造工事 (□1,600 mm×1,600 mm、L≒80m)
- ・大平北幹線築造工事 (□2,100 mm×1,500 mm、L≒100m)
- ・矢作東幹線築造工事 (□2,000 mm×1,000 mm、L≒40m)

◆雨水ポンプ場整備

【工事】

- ・福岡雨水ポンプ場築造工事
 - (工事箇所) 岡崎市福岡町地内
 - (工事期間) 平成 25～29 年度まで
 - (供用開始) 平成 30 年 4 月 (予定)
 - (施設概要) 敷地面積 約 2,000 m²、排水面積 約 43.6ha、
ポンプ能力 4.6 m³/秒、ポンプ施設 4 台、
放流先 一級河川 砂川
- ・六名雨水ポンプ場築造関連工事 (代替駐車場整備工事)



【下水道事業】下水道施設地震対策整備事業〔予算額 398,440千円〕		上下水道局総務課 経営管理班(23-6304)
財源内訳	企業債 183,570千円、他会計出資金 13,830千円、国庫補助金 191,820千円、自己財源 9,220千円	
支出内訳	1款1項1目 管渠施設費／委託料 26,500千円、補償金 34,400千円、施設工事費 45,000千円 1款1項2目 ポンプ場施設費／委託料 292,540千円	

耐震性能が低い下水道管渠及びポンプ施設の耐震化を図ります。

◆管 渠

【設 計】

重要な幹線等における管渠地震対策実施設計業務 (L≒2,200m)

【工 事】

- ・地盤液状化が想定される箇所のマンホール浮上防止工事 (N=16 基)
- ・重要な幹線等における管渠の改築による耐震化工事 (L≒210m)

◆ポンプ場

【工 事】

- ・大西汚水中継ポンプ場耐震補強工事 (平成 28～29 年度)
- ・赤渋雨水ポンプ場耐震補強工事 (平成 27～28 年度)

●耐震対策の事業計画

- ・対象とする地震動 南海トラフ地震
- ・下水道総合地震対策計画
 - 計画管渠延長 L=28,313m
 - 計画ポンプ施設 汚水2箇所、雨水3箇所

●事業スケジュール

- 計画期間 管渠施設 平成 21～30 年度(10 箇年)
- ポンプ場 平成 21～29 年度(9箇年)



壁・底版などのコンクリート増し打ち状況



天井へのブレース（筋交い）設置状況

【下水道事業】下水道施設改築更新整備事業〔予算額 1,144,800千円〕		上下水道局総務課 経営管理班(23-6304)
財源内訳	企業債 550,650千円、他会計出資金 24,300千円、国庫補助金 560,650千円、自己財源 9,200千円	
支出内訳	1款1項1目 管渠施設費／委託料 49,300千円、施設工事費 426,000千円 1款1項2目 ポンプ場施設費／委託料 669,500千円	

老朽化した下水道管渠及びポンプ施設の長寿命化を図ります。

◆管 渠

【調査・設計】

- ・老朽化が進行している管路の点検調査業務 (L≒9,100m)
- ・優先度が高い管渠の改築更新実施設計業務 (L≒1,000m)

【工 事】

管渠更生工による老朽管渠の改築工事 (L≒4,000m)

◆ポンプ場

【工 事】

- ・大西汚水中継ポンプ場改築工事 (平成 28～29 年度)
- ・八帖雨水ポンプ場改築工事 (平成 27～28 年度)
- ・大門雨水ポンプ場改築工事 (平成 27～28 年度)

●改築更新の事業計画

下水道長寿命化計画

計画管渠延長 L=20,990m

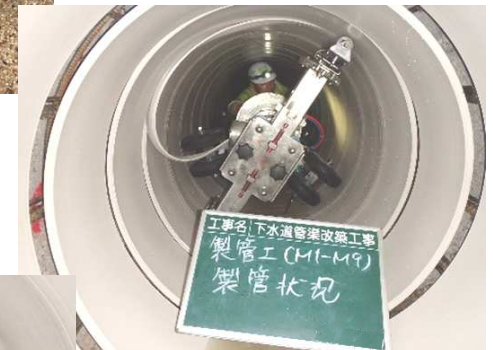
計画ポンプ施設 汚水2箇所、雨水4箇所

●事業スケジュール

計画期間 平成 25～29 年度 (5箇年)



工事前の老朽化した下水道管



老朽化した下水道管の内側に新しい管を製作する状況



改築更新された下水道管